

飯塚国際  
車いすテニス大会  
天皇杯・皇后杯  
下賜

男子シングルス優勝者に天皇杯  
女子シングルス優勝者に皇后杯

# もっと知ろう。

## 飯塚国際 車いすテニス大会

### 飯塚国際車いすテニス大会の歩み

飯塚で国際車いすテニス大会が開催されるようになったきっかけは、労働福祉事業団(現・独立行政法人労働者健康安全機構)総合せき損センターにおいて、脊髄損傷者のリハビリとして車いすテニスが導入されたことです。

飯塚市に「総合せき損センター」が開設されたのは、昭和54年(1979年)のことです。かつて炭鉱業で栄えた飯塚には炭鉱災害等で脊髄を損傷した患者が多くいました。総合せき損センターは、脊髄損傷の専門病院として救命救急の初期治療から患者の社会復帰まで一貫した医療を行っています。

昭和57年(1982年)に車いすテニスが日本で紹介されると、いち早くそれを採り入れ、患者のリハビリに導入しようとしたのが、総合せき損センターのソーシャルワーカーでした。翌58年(1983年)には総合せき損センターの体育館において本格的に車いすテニスの練習が始まります。福岡県だけでなく、隣県の山口、佐賀、熊本などからもはるばる練習に来る人も出てきました。

昭和59年(1984年)に九州車いすテニスクラブが発足し、翌60年(1985年)に九州車いすテニスクラブと地元・飯塚ロータリークラブの主催により、第1回の飯塚国際車いすテニス大会が開催されました。第1回の大会には海外から14名の選手が参加、大会名誉会長として故三笠宮寛仁親王殿下にご臨席いただきました。飯塚ロータリークラブの全面的な協力と、地元のタクシー協会、ホテル、商店街、消防団、警察署、陸上自衛隊、高校など地元の様々な方面からの支援のお陰で大会を無事終えることができました。第1回目から国際大会を開催することになったのは、飯塚で練習していた選手がハワイの大会に出場し、ハワイで車いすテニスをされていた日本人と知り合ったことがきっかけでした。アメリカをはじめ各国の車いすテニスプレイヤーに人脈を持つその方から、今が世界の車いすテニスの成長期であることなど世界の車いすテニス事情を聞き、飯塚でも即国際的な大会を行うことができると確信したのです。

第1回大会が盛会裡に終了し、その余韻が冷めやらぬうちに、選手たちから「大会を継続して開催してほしい」との要望が大会役員に寄せられました。第1回大会の共同主催者であった飯塚ロータリークラブからは「1回」という約束で全面的な協力を得ており、第2回大会を開催するには、ロータリーに替わるスポンサーが現れるか(見つけられるか)どうか最大の問題でした。幸いにして第1回大会の実績を認めてくれたいくつかの企業がスポンサーとなってくれることとなり、第2回大会開催の目処が立ちました。それ以降、官公庁、企業、各種団体、学校、そして個人の皆さんに至るまで、たくさんの人々が大会を支え、今日に至るまで毎年開催されています。



GET TO KNOW MORE  
JAPAN OPEN INTERNATIONAL WHEELCHAIR TENNIS CHAMPIONSHIPS

## 飯塚国際車いすテニス大会の グレード

1989年に国際車いすテニス連盟(IWTF)が発足し、同連盟はイギリスにある国際テニス連盟(ITF)の下部組織として認定されました。これにより車いすテニスの世界にも世界ランキング制度が設けられました。(IWTFは1998年にITF本体に組み込まれ、ITFの車いすテニス部門となります。)

1990年の第6回大会で飯塚国際車いすテニス大会は世界ランキング認定大会に指定されました。2004年の第20回大会で飯塚国際車いすテニス大会はスーパーシリーズに格上げされ、世界4大会の一つとなりました。2009年にはグランドスラムが新たなグレードとして設けられたため、現在では6大会の一つ。アジアでは最高峰の国際車いすテニス大会となっています。



## 飯塚国際車いすテニス大会の ボランティア

飯塚国際車いすテニス大会は、毎回2,000名を超すボランティアが大会の運営支援に当たり、地域挙げてのホスピタリティはITFにも高く評価されています。ボランティアの方々は、ボールパーソン、会場整備、輸送、メディカル、食事、通訳、駐車場誘導といった様々な仕事を引き受けており、この運営方式は「イヅカ方式」と呼ばれるようになりました。

また、陸上自衛隊飯塚駐屯地の隊員が、毎年、会場設営や選手の送迎などの支援を行っています。



飯塚国際  
車いすテニス大会  
天皇杯・皇后杯  
下賜  
男子シングルス優勝者に天皇杯  
女子シングルス優勝者に皇后杯

もっと知ろう。  
飯塚国際  
車いすテニス大会

GET TO KNOW MORE  
JAPAN OPEN INTERNATIONAL WHEELCHAIR TENNIS CHAMPIONSHIPS

# CHRONOLOGICAL TABLE

## 飯塚国際車いすテニス大会の沿革

- 1976年 アメリカ カリフォルニアで車いすテニスが始まる。
- 1982年 車いすテニスが神奈川県・大阪市・福岡県飯塚市で紹介される。  
国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会(於:愛知県蒲郡市)で外国選手と対抗試合。
- 1983年 脊髄専門病院・総合せき損センター(飯塚市)の体育館において車いすテニスの練習が始まる。
- 1984年 九州車いすテニスクラブ設立(会長:角田信昭)
- 1985年 4月12日~14日 飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニスクラブ、飯塚ロータリークラブ)  
・日本で初めての車いすテニス・クリニックを開催
- 1986年 九州車いすテニス協会を設立(会長:麻生 泰)(日本初の車いすテニス協会)  
5月23日~25日 第2回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会、以後同協会が主催となる)
- 1990年 5月23日~27日 第6回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・世界ランキング認定大会に指定される。  
全国身体障害者スポーツ大会(福岡国体)で車いすテニスが公開競技種目となる。
- 1992年 筑豊ハイツに車いすトイレと車いすので使えるシャワー室が完成
- 1994年 5月25日~29日 第10回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・10回記念事業として、フォーラム、コンサート、テニス・クリニックを開催  
10回記念事業としてテニス・キャンプを開催(目的:アジアの車いすテニスの技術向上と車いすテニス指導者の育成)
- 2002年 5月15日~19日 第18回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・日本人初の快挙 斎田悟司選手優勝  
・ジョン・グリア選手(米)クリスティン選手(英) 筑豊ハイツにて挙式  
・飯塚国際車いすテニス大会創設者の一人、星野治氏(51歳)逝去
- 2003年 2月 西日本スポーツ賞(体育功労賞) 受賞
- 2004年 1月 特定非営利活動法人承認される。NPO法人九州車いすテニス協会として新スタート(理事長:麻生泰)  
5月 11日~16日 第20回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・スーパーシリーズに昇格  
11月 角田信昭氏(前大会実行委員長)ソロプチミスト財団社会ボランティア賞受賞
- 2006年 飯塚国際車いすテニス大会サポーターズクラブ導入  
5月16日~21日 第22回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・男子シングルスで、国枝慎吾選手が初優勝
- 2009年 5月8日 25周年記念シンポジウム開催  
5月19日~24日 第25回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・決勝戦をインターネットで生中継
- 2013年 5月29日~6月2日 第29回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・女子シングルスで、上地結衣選手が初優勝
- 2014年 5月13日~18日 第30回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・30周年記念シンポジウムを開催  
・男子シングルスで国枝慎吾選手、女子シングルスで上地結衣選手が優勝
- 2016年 3月 九州車いすテニス協会 福岡県知事賞 受賞(車いすテニスの普及・振興等)  
5月17日~22日 第32回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
10月 九州車いすテニス協会 文部科学大臣賞 受賞(スポーツの普及・振興)
- 2017年 5月16日~21日 第33回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会)  
・男女シングルス決勝戦の様子がスカパーで生放送される。



# もっと知ろう。

## 飯塚国際 車いすテニス大会

# GET TO KNOW MORE

JAPAN OPEN INTERNATIONAL WHEELCHAIR TENNIS CHAMPIONSHIPS